



◀深原地区の町有地造成工事（8月現在）

Q 深原地区町有地造成事業

- A** ・計画どおり順調に進捗している（上馬場建設部長）
・早い時期に分譲体制を整備したい（三村町長）

A 現在の工事状況として、各工事の進捗率は、流路工10%、のり面工60%、盛り土工30%となっており、防災工事（調整池・砂防堰堤）は完了している。

また、トンネル工事については、全長1・1kmのうち300mを掘り終え、平成25年度末には開通見通しとなっており、計画どおり順調に進捗している。

工事完成後の分譲計画については、今年8月に関係課長を集めプロジェクトチームを立ち上げたところである。今後、企業立地の動向調査、企業誘致に関しての優遇措置等、販売に向けたセールズ方法について協議を重ね、できるだけ早い時期に分譲体制を整備したいと考えている。



荒瀧穂積議員

Q 工事状況はどうか。また、完了後の分譲計画について、どう考えているか。



時光良造議員

Q 新宮地区の上下水道

- A** ・区域が広いため数年に分けて整備する予定（曽根水道課長）
・整備完成は平成27～28年度と考える（中井下水道課長）

A 未給水地区は、海上橋付近の県道瀬野呉線南方面にあり、地元の申請により整備を行っているが、区域が広いため数年に分けて整備する予定。

今年度、海上側会館付近まで配水管布設工事を行い、8軒の給水が可能となった。今後も計画的に未給水地区の解消に努める。

公共下水道事業は、新宮地区を主に行っており、今年度は新宮苑団地が完了する。来年度からは、キララ川付近、県道瀬野呉線沿いの後に、新宮の工業地域を整備する予定で、新宮地区の整備完成は平成27～28年度と考える。

今後、国の動向を注視し、効率的かつ計画的な整備を行い、未整備地区の解消に努めたい。

Q 新宮地区の上下水道未給水地区と、下水道未整備地区の今後の計画について。

Q 町民が明るくなれるような話題を提供

藤本哲智議員

- A** 岩清水選手、坂口選手をお呼びしたい（三村町長）

A 今年2月に「なでしこジャパン」のメンバーをお呼びした際、当初来町予定であった岩清水選手が、けがで来られなくなったことから、「お詫びをかねて熊野町を訪れたい。」という気持ちであることとを聞いています。

従って、条件等が合えば、日テレベレーザ所属の岩清水選手、坂口選手のお2人を招へいすべく、交渉していきたいと考えています。また時期については、来年の春までにお呼びできればと考えています。

Q ロンドンオリンピックで「なでしこジャパン」は銀メダルを獲得した。この名誉を讃え、メンバーを招待するよう提案するが、町としてどう考えるか

Q おでかけ号について

藤本哲智議員

- A** 運行計画の修正があれば10月以降に修正の必要がなければ現状を継続したい（民法企画財政課長）

A 1便あたりの平均利用者数は、東部地域1・9人、中央地域5人、西部地域4・5人（8月末時点）。また、概ね7割の方が午前中の便を利用している。このような状況の中、これまでの利用状況、利用者へのアンケートを基とし、運行ルートや頻度などについて中途段階の検証を行なっている。

町としては、運行の助言をいただいている大学教授からの提言等を踏まえて検討し、運行計画の修正があれば住民への周知等を踏まえ10月以降運行を見直すこととし、修正の必要がなければ現状継続で考えている。

Q おでかけ号の現時点での乗車効率から、今後の運行計画をどのように考えるか。

建設部門

Q 道垣内交差点の改良計画

- A** 用地取得は面積ベースで約85%である（森本建設部次長）

A 県と町が協力し、関係者の諸事情にも配慮しながら条件が満たされた方から順次、用地取得の手続きを行っており、用地取得は面積ベースで約85%である（8月末時点）。県では、残る関係者に事業への理解と協力が得られるよう交渉を進めている。

工事は、県道矢野安浦線が横断する土路川部分に、この秋以降着手する予定と伺っている。

町としても、県からの協力要請には積極的に対応し、一日も早く交差点改良事業が完了するよう取り組んでいく。

Q 道垣内交差点の改良事業については、昨年仮歩道を設置したが、その後の進捗状況はどのようになっているか。



民法正則議員